

防 平成25年南部町消防出初式 災への決意新たに

1月6日に農業者トレーニングセンターにおいて、平成25年南部町消防出初式が挙行されました。

式典では、永年の功績等に対し、各種表彰の伝達が行われたほか、町長、団長、来賓の方々からの日頃の消防活動への感謝と激励の言葉に、参加した公設消防団・自衛消防団団員232人は、力強い敬礼で応えるとともに、今年一年の無火災、無災害を祈念しました。

式典終了後、近くの小松谷川で各団が見事な一斉放水を披露し、見ていた子どもたちから歓声が上がっていました。



一斉放水の様子



当日は中海テレビなどの撮影もあり、子ども達はちょっぴり緊張した様子

再 西伯小学校で読み聞かせ 生神話の絵本が完成

古事記編纂1300年に合わせて南部町立図書館で開かれた「絵本づくり講座」で作成した古事記絵本「よみがえった神さま～赤猪岩神社ものがたり」(A4判、22ページ)が完成し、1月17日に西伯小学校2年1組(23人)で読み聞かせが行われました。同小学校では毎週木曜日に図書館司書やコミュニティ・スクールのみなさんが読み聞かせを行っており、今回は町立図書館の角田館長が出来上がったばかりの絵本をさっそくお披露目。子どもたちは目をキラキラさせてお話の世界に引き込まれていました。

農 わかとり作業所でブロッコリーの加工作業 福連携で地域活性化を目指す

社会福祉法人祥和会「わかとり作業所」で、11月下旬から12月中旬にかけて南部町内の生産農家(葉タバコ廃作農家)で収穫された秋冬ブロッコリーを、学校給食用の食材として加工する作業が行われました。

ここで一口大に切り分けられたブロッコリーは、県学校給食会を通じて県内の学校に給食として提供され、茎は町内の山菜生産加工組合によって粕漬けとして、現在商品化に向けて試作品を開発中です。

この取り組みにより、生産農家の作業の省力化、学校給食の地元産食材の使用率向上、障がい者への農業分野への職域拡大や所得向上などが見込まれ、食の循環による地域活性化が期待されます。



ひとつずつ丁寧に切り分けます

小型除雪機が配備されました

地域のコミュニティ活動を促進するために交付される平成24年度宝くじ助成金を受け、大国・南さいはく・あいみ手間山の各地域振興協議会に、それぞれ5台ずつ計15台の小型除雪機が配備されました。

小型除雪機は、各地域振興協議会を通じて集落に貸し出され、歩道や通学路などの除雪に活用されています。



使用方法の説明を受ける皆さん
(あいみ手間山地域振興協議会)